

経営比較分析表

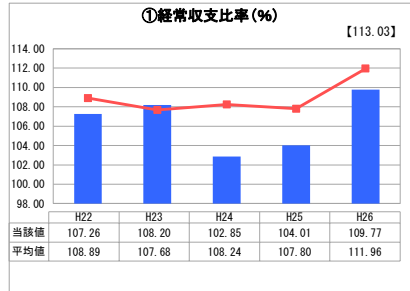
埼玉県 吉川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	76.60	99.98	2,430

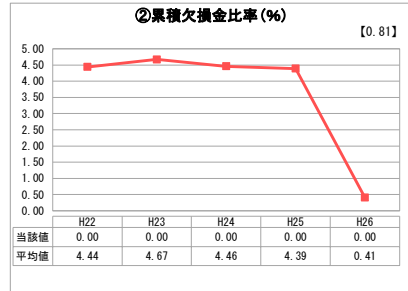
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
69,871	31.66	2,206.92
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
70,358	31.62	2,225.11

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

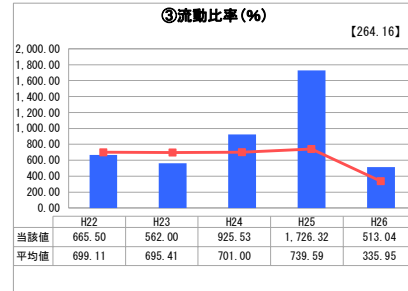
1. 経営の健全性・効率性



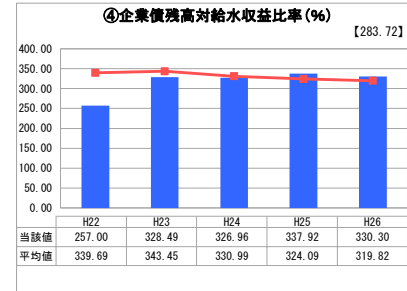
「経常損益」



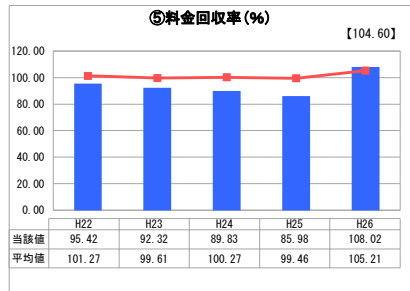
「累積欠損」



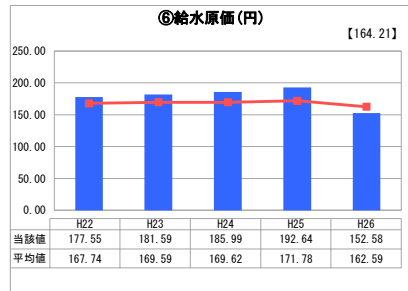
「支払能力」



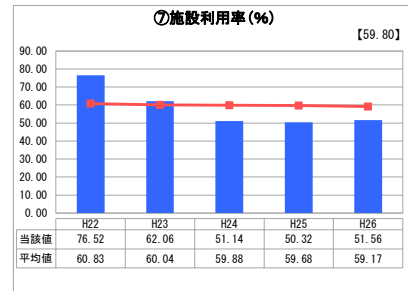
「債務残高」



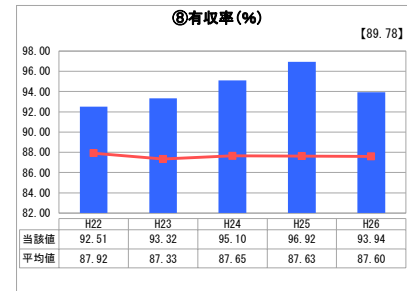
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

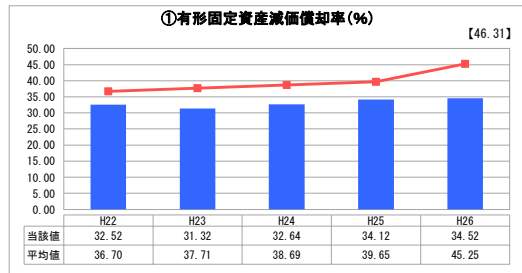


「施設の効率性」

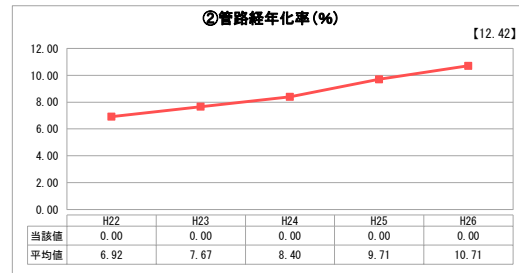


「供給した配水量の効率性」

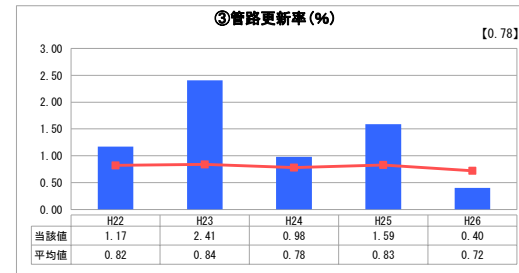
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率については、類似団体平均値と比べてやや下回っているものの、基準となる100%を超えており、収支は健全な水準にあると考えられます。また、平成24年度は数値が減少したものの、その後改善しております。
- ② 累積欠損金比率については、累積欠損金が発生していないため、適正な数値となっております。
- ③ 流動比率については、平成25年度を除き、類似団体平均値と同様の数値となっております。
- ④ 企業債残高対給水収益比率については、類似団体と比較して同様の値となっており、また一定の水準を維持しております。
- ⑤ 料金回収率については、基準となる100%を超えており、類似団体と比較してもほぼ同等の数値となっております。
- ⑥ 給水原価については、類似団体平均値と比べて下回っており、適切な数値となっております。
- ⑦ 施設利用率については、類似団体平均値と比べて下回っているが、最大稼働率及び負荷率と併せて判断すると、適切な余力を持った施設規模となっております。
- ⑧ 有収率については、類似団体平均値と比べても高い数値となっており、施設の稼働が収益に結びついております。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率については、類似団体平均値と比べて低い数値となっているものの、年々少しずつ老朽化が進んでおります。
- ② 管路経年化率については、法定耐用年数を超えた管がないため、適正な数値となっております。
- ③ 管路更新率については、平成25年度までは類似団体平均値を上回る数値となっていました。平成26年度は市街化区域内の工事が主となったことから、市民生活にも配慮したため、平均値を下回っております。

全体総括

平成25年度に比べ、平成26年度に数値の増減変動が大きいもの主たる要因は、地方公営企業会計制度（基準）の見直しに伴うものとなっております。また、財政状態をみると、支払能力を示す指標である「流動比率」が513.04%である等、財務の安定性がうかがえるとともに、その他の経営指標についても概ね良好な数値となっております。なお、今後においては法定耐用年数を迎える管路が多くあることから、管路延長の再調査を行い、計画的な設備投資を着実に推進しつつ、より一層効率的かつ効果的な事業運営を図ることで、経営基盤の強化に努め、健全な水道事業運営の継続に努める必要があります。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。